

校長室より

令和 3年8月31日
校長 植野 博之



8月も終わり、いよいよ9月の新学期を迎えます。

国内では、この夏は東京オリンピック、パラリンピックで国内の選手が活躍し、多くの感動場面がありました。一方で新型コロナウイルスの感染は、おさまらず県内においても感染者の増加が見られます。

9月1日以降については、みはま支援学校においても、感染対策をしながら通常登校となりますが、今まで以上に感染対策に気をつけていきたいと思えます。

全国高等学校総合文化祭和歌山大会



7月31日（土）～8月2日（月）にかけて、全国高等学校総合文化祭和歌山大会が和歌山市のビック愛を会場に開かれました。

みはま支援学校から、作品展示、軽音楽のステージ発表、感謝を伝えるメッセージ甲子園、ものづくりの物品販売、学校紹介ビデオの上映等が行われました。

本校の生徒は緊張しながらも、それぞれの役割を精一杯こなしました。一生懸命な姿は、初々しい感動を生みました。

ものづくりの販売



作品展示



生徒実行委員会
挨拶や司会



軽音楽のステージ発表



一学部（和歌山病院入院生） FLTの授業

夏季休業中の登校日に一学部では、バングラディッシュ出身のFLTのサマンサさんが、サリーを着て授業をしてくださいました。他国の文化を知るために、ピンクの素敵な衣装で登場されました。

先生達もそれぞれ自前のおしゃれな衣装で変身しました。生徒達もいつもと違う雰囲気や様子を感じたのではないかと思います。



教職員の夏季研修の様子！

教職員が病弱教育の専門性を高めるために夏季研修を行いました。コロナ禍の中で、講師と遠隔でつなぐオンライン研修も増えてきました。

- ・ 7月28日 視線入力研修（講師：できわかクリエイターズ 引地晶久氏）
- ・ 8月6日 重度重複障害児実践交流会（オンライン 本校実践報告）
- ・ 8月17日 カニューレ抜去時対応実践訓練
- ・ 8月23日 県病弱教育研究会（講師：和歌山県立医科大学 津田祐子Dr）
- ・ 8月26日 医療研修会（講師：国立和歌山病院 西本幸弘Dr）

実践交流会



県病弱教育研究会



視線入力研修



カニューレ抜去時対応実践訓練

